

年 組 名前 :

問1

文化庁が始めた「100年フード」認定制度の狙いは何ですか。

.....
.....

問2

認定制度には「伝統」「近代」「未来」の3部門があります。どんな「食」が対象か、部門ごとに書いてください。

伝統 :

近代 :

未来 :

問3

あなたが「100年フード」に認定したい「食」を2つ挙げ、それぞれの理由を書いてください。

① 名称 :

理由 :

② 名称 :

理由 :

.....
.....

文化庁は、地域に根づく食文化を「100年フード」と名付けた認定制度を始めた。各地の郷土料理やご当地グルメの継承とPRが狙い。食に関する情報発信に取り組み博物館や道の駅などを「食文化ミュージアム」に認定する制度も新設。いずれも、新たに開設した公式サイトで応募を受け付けている。
フードは地域の風土や風習

地域の食を継承へ 「100年フード」認定 文化庁 サイトで募集

の中で生まれ、世代を超えて継承されている食文化が対象。江戸時代以前から伝わる「伝統」、明治・大正から続く「近代」、昭和以降に生まれ今後100年の継承を目指す「未来」の3部門で、自治体や観光協会、民間団体などが応募できる。
伝統部門は郷土料理、近代はラーメンや洋食、未来は地元産食材を使ったご当地グルメなどが想定されている。ミュージアムは、展示や調理教室の開催などで地域の食文化に関する学びや体験を提供していることを条件とした。
いずれも応募は12月17日までに。認定されるとサイトで紹介され、フードは公式ロゴマークを使ってPRできるようになる。認定の可否は有識者の審査を経て、来年1~2月に決める。

(2021年11月7日付 山梨日日新聞 24面)